

ギリシャ共産党

労働運動の再結集は、階級闘争への婦人の参加の高まりによって左右される

活動家集団思想運動の同志諸君、

国際婦人デーに際し諸君が三月九日に東京で組織する集会を熱烈に称賛する。われわれは、帝国主義戦争に反対し、婦人と労働者、人民階層の世帯、その子どもたちの権利を求め闘いで、諸君と声をそろえている。

われわれは、パレスチナの人民、婦人たち、子どもたちへの連帯を表明する。パレスチナ人民は、殺人国家イスラエルによる侵略で何か月も苦しめられている。イスラエルは、アメリカ合衆国とNATO（北大西洋条約機構）、EU（欧州連合）の支援を受けており、ギリシャも、この帝国主義の殺戮に積極的に加わっている。イスラエルとその同盟国のブルジョワ階級の計画の結果に直面させられているイスラエルの人民と中東の諸人民も、また、この激化し続ける紛争の犠牲者である。

ギリシャ共産党は、労働者と人民の運動、ギリシャ婦人連盟（OGE）の仲間の勢力とともに、さまざまな活動を行ってきた。帝国主義戦争の影響を経験させられているすべての人民への大衆的な連帯を強化し、さらに、欧州大西洋陣営の計画にギリシャが加担するのを阻止するための活動である。ギリシャの加担は、紅海でのギリシャのフリゲート艦の配備やアスピデス作戦と呼ばれるEUの軍事使節団の指導部の派遣によって、危険なまでに激化している。

同志諸君、

わが国と資本主義世界全域の婦人の労働者と自営業者、農民は、搾取の激化とフレキシブル（柔軟）な労働関係、物価の高騰、医療、教育、福祉の営利化、将来不安を経験している。

婦人の不平等の核心がなくならないままなのは、資本家にとって、婦人に対する差別を利用することに利点があるからである。婦人の労働への参加が増して、搾取度が高まることについて、EUと多くの国の政府は、アメリカ合衆国や中国、日本の独占を相手に競っているヨーロッパの独占の利潤を増やすための前提条件と見なしている。

EUでは、性の平等という名目で、労働現場の婦人に対する保護措置がしだいに削られ、廃止されてきた。女性の肉体と生殖、性的資質、さらには親権までもが営利化されるのを正当化するため、時代錯誤で非理性的な見解が利用されている。

そのようなものとは対照的に、労働運動は、現代的な社会的必要を満たすために闘い、搾取の廃絶を闘いの焦点に据えて、真の平等と婦人解放のための要求を前面に押し出している。

同志諸君、

帝国主義間の対立と反目が激化する状況で、国際的な共産主義運動と労働運動の再結集は、もっぱら階級闘争への婦人の参加の高まりによって左右されることになる。

この方針で、ギリシャ共産党は、闘い続けている。

同志として

ギリシャ共産党中央委員会国際関係部

（見出しは編集部による）

【訳＝杉本芳夫】